計算機科学実験 3 A 実施報告書

チーム4: 竹田原俊介 Chung Mung Tim 2022-06-02

第1章 目標と計画

中間レポートの時点で、様々な拡張機能の実装を計画し、プロセッサのパイプライン化も計画した。しかし、実機でプロセッサを動作させることができず、デバッグの段階で行き詰ってしまった。その結果、予定していた数多くの拡張機能のうち、2つしか実装することができなかった。実機で試す時間がないような機能をたくさん作るよりも、今ある機能を確実に動作させようと考えたのである。

第2章 分担状況

| ブロック | 設計/実装 |
|-----------------|-----------|
| プログラムカウンター | 竹田原 |
| レジスタ | 竹田原・Chung |
| 汎用レジスタ | Chung |
| SZCV レジスタ | 竹田原 |
| ALU | 竹田原・Chung |
| マルチプレクサ | 竹田原 |
| 符号拡張 | Chung |
| 制御部 | Chung·竹田原 |
| ALU 制御部 | Chung |
| seven (外部出力) | Chung |
| | |
| トップレベル (simple) | 竹田原・Chung |
| 主記憶(命令・データ) | 竹田原 |
| 応用プログラム | 竹田原 |
| | |
| レポート | Chung |